

環境教育副読本 活用事例(小学校へのアンケート結果から)

4年生

教科	単元名	活用方法	副読本活用箇所
社会科	住みよいくらしをつくる (水はどこから)	水の汚れの問題について理解を深めるため、教科書と併用し副読本を資料として活用した。	2 環境があぶない (2)身近な問題 ○福岡県の環境問題 ・水のよごれ ○わたしたちにもできる環境チェック (3)環境をこわしたのは ○生きものたちの声 ・魚のひとりごと
	住みよいくらしをつくる (ごみの処理と利用)	教科書で学習する際の読み物資料として活用した。 また、社会科見学のしおりに載せたり、見学のまとめの新聞づくりの際の資料としても活用した。	2 環境があぶない (2)身近な問題 ○福岡県の環境問題 ・ごみの処理 3 環境をよみがえらせよう (2)地域が動く ○県や市町村では ・循環型社会をつくるために
	わたしたちの県	教科書と併用し、福岡県の地形区分図や自然の様子を扱い、私たちの福岡県について興味関心を持たせた。	1 すばらしい環境 (1)こころのふるさと (2)かがやく生命

5年生

教科	単元名	活用方法	副読本活用箇所
社会科		再生可能エネルギーによる発電の例(太陽光発電, 風力発電, バイオマス発電)について, 身近な写真を見せながら説明することで, 児童の関心を喚起した。	3 環境をよみがえらせよう (1)世界が動く・日本が動く ○日本では
	国土の環境を守る	学習のまとめとして, 今までに学んだことを生かし, さらに日常の自分たちの生活を見直すため, 「食品ロスについて」のページを全員で読み, 自分たちにできることについて考えを共有した。	3 環境をよみがえらせよう (2)地域が動く ○県や市町村では ・循環型社会をつくるために (食品ロスについて, 賞味期限と消費期限について)
	わたしたちの生活と工業生産	自動車工場の社会科見学前に, クリーンエネルギーの活用例(燃料電池自動車, 電気自動車等)を「持続可能な社会」の具体例として示し, 児童の関心を喚起した。	3 環境をよみがえらせよう (1)世界が動く・日本が動く ○日本では

教科	単元名	活用方法	副読本活用箇所
社会科	わたしたちの生活と環境	単元の振り返りとして、「空気・日光・土と生物」や「森林のはたらき」についてのページを活用した。	1 すばらしい環境 (3)かけがえのない環境 ・空気・日光・土と生物 ・森林のはたらき
		実際の福岡県での取組や環境について具体的に考え、自分たちができる今後の取組を話し合う際の資料として適宜示し、児童の交流活動の活性化を図った。	3 環境をよみがえらせよう (2)地域が動く ○県や市町村では ・生物多様性が豊かな環境をつくるために ○家庭や地域では ・清掃活動 ・ごみ減量推進活動 ・段ボールコンポストでごみ減量 4 環境に関わってみよう (1)自然と友達になろう ・野山に出かけよう ・自然に親しむゲームをしてみよう (2)環境への小さな思いやり ・環境にやさしい行動チェック ・ふくおかキッズエコチェックシート (3)学校や家でできること ・グリーンカーテン

教科	単元名	活用方法	副読本活用箇所
理科	メダカのたんじょう	「池や小川・海の小さな生物」に関連させて、副読本で水の汚れと川や海にすむ生きものへの影響等について学習することで、自分たちの生活と海や川などの生態系がつながっていることを示すとともに、自然環境を保全していこうとする態度を育てた。	2 環境があぶない (2) 身近な問題 ○福岡県の環境問題 ・水のよごれ ○わたしたちにもできる環境チェック (3) 環境をこわしたのは ○生きものたちの声 ・魚のひとりごと ・昔から日本にいる生きもののひとりごと
	自由研究	調べたいこと(児童の興味関心)をはっきりさせ、研究の見通しをもたせるための補助教材として、環境教育副読本を活用した。	全ページ
家庭科	かたづけよう身の回りの物(物を生かすくふうをしよう)	「不用品を減らすためにはどうしたらよいか考えよう」という問いに対して出た意見を3Rに分ける活動を行った。その際、教科書には載っていないリサイクルに関わるマークを副読本を用いて提案し、不用品を減らす工夫について考えた。	3 環境をよみがえらせよう (2) 地域が動く ○県や市町村では ・循環型社会をつくるために

6年生

教科	単元名	活用方法	副読本活用箇所
社会科	世界の中の日本 (世界の未来と日本の役割)	環境問題の解決のための日本の取組について調べる際に、副読本を教科書の補足資料として活用した。 世界の取組、日本という我が国の取組から、自分たちや自分の取組を考えることにつなげ、意見文を作成して交流活動を行った。	3 環境をよみがえらせよう (1)世界が動く・日本が動く ○日本では
理科	生物どうしの関わり	植物の呼吸について学習する際、植物と土の中との関わりや、動植物との支えあい、生命のつながりについて示すため、副読本の図を活用した。	1 すばらしい環境 (3)かけがえのない環境 ・空気・日光・土と生物
	生物と地球環境	自然の水が循環していることや自然と人間のくらしの関わりについて調べ学習をする際の資料として、副読本を活用した。	1 すばらしい環境 (3)かけがえのない環境 ・自然と人間とのつながり ・水と生物 ・空気・日光・土と生物
		教科書の補足資料として、副読本を活用した。	1 すばらしい環境 (3)かけがえのない環境 ・自然と人間とのつながり ・水と生物 ・空気・日光・土と生物
		学習のまとめとして、「わたしたちは、地球環境とどのように関わっていけばよいのだろうか」というテーマで個人の新聞づくりを行う際の参考とした。	2 環境があぶない (1)病める地球 ・地球環境問題 ・地球温暖化の問題 ・酸性雨の問題 (2)身近な問題 ○福岡県の環境問題 ・空気のよごれ ・ごみの処理 ・水のよごれ ○わたしたちにもできる環境チェック (3)環境をこわしたのは ○生きものたちの声 ・魚のひとりごと ・昔から日本にいる生きものひとりごと ・木のひとりごと

教科	単元名	活用方法	副読本活用箇所
理科	生物と地球環境	地球温暖化の学習の場面で、副読本を読み物資料として示した。	2 環境があぶない (1) 病める地球 ・地球環境問題 ・地球温暖化の問題
		学習の発展として「守ろう 地球環境」というテーマで新聞づくりを行う際、副読本を印刷して児童たちに与え、自分のテーマに合った部分を切り取って使うなど、新聞づくりの材料として活用した。 より具体的に環境とのかかわりについて考えさせることができ、メッセージ性を込めた新聞を仕上げていた。	2 環境があぶない (1) 病める地球 ・地球環境問題 ・地球温暖化の問題 ・酸性雨の問題 (2) 身近な問題 ○福岡県の環境問題 ・空気のよごれ ・ごみの処理 ・水のよごれ ○わたしたちにもできる環境チェック (3) 環境をこわしたのは ○生きものたちの声 ・魚のひとりごと ・昔から日本にいる生きもののひとりごと ・木のひとりごと

その他

教科	単元名	活用方法	副読本活用箇所
総合的な学習の時間	地元の〇〇川を調べよう	<p>学習の導入として、環境問題についての興味・関心(特に水のよごれについて)を持たせるために副読本を活用し、「身近な環境(川)を調べよう」という目当てを持たせた。</p>	<p>1 すばらしい環境 (3)かけがえのない環境 ・空気・日光・土と生物 ・森林のはたらき 2 環境があぶない (1)病める地球 ・地球環境問題 (2)身近な問題 ○福岡県の環境問題 ・水のよごれ ○わたしたちにもできる環境チェック (3)環境をこわしたのは ○生きものたちの声 ・魚のひとりごと</p>
		<p>副読本「川の中の生き物で水のよごれ具合を調べよう」のページを使い、川の上流・中流・下流に生息する生きものの様子と透明度を調べた。</p>	<p>2 環境があぶない (2)身近な問題 ○わたしたちにもできる環境チェック</p>
		<p>校区を流れる川の水質調査や、市役所の環境部の方からの話を聞いたりしたことを振り返り、身近な場所の環境について分かったことや考えたことを新聞やリーフレット等にまとめるときに、副読本を活用した。</p>	<p>2 環境があぶない (2)身近な問題 ○福岡県の環境問題 ・水のよごれ ○わたしたちにもできる環境チェック (3)環境をこわしたのは ○生きものたちの声 ・魚のひとりごと</p>
		<p>調べ学習等をふまえ、副読本を参考に今までの生活を振り返り、自分たちにできることを考えて新聞にまとめた。</p>	<p>2 環境があぶない (3)環境をこわしたのは ○生きものたちの声 ・魚のひとりごと ・昔から日本にいる生きものひとりごと ・木のひとりごと</p>

教科	単元名	活用方法	副読本活用箇所
総合的な学習の時間	わたしたちの環境	学習の導入として、環境と生物とのつながりを示すため、副読本の図を使用した。	1 すばらしい環境 (3) かけがえのない環境 ・自然と人間とのつながり ・水と生物 ・空気・日光・土と生物
		副読本「2環境があぶない」を読んで地球環境問題について学習した後、自分が心に残った問題を一つ選ばせ、新聞を作成した。	2 環境があぶない (1) 病める地球 ・地球環境問題 ・地球温暖化の問題 ・酸性雨の問題 (2) 身近な問題 ○福岡県の環境問題 ・空気のよごれ ・ごみの処理 ・水のよごれ ○わたしたちにもできる環境チェック (3) 環境をこわしたのは ○生きものたちの声 ・魚のひとりごと ・昔から日本にいる生きもののひとりごと ・木のひとりごと
		環境について自分たちの調べたいテーマを決めた後、副読本をテキストとして、テーマごとにチーム(地球温暖化チーム、生物チーム、酸性雨チーム等)に分かれて調べ学習を行った。	
課外		朝の活動や読書タイムで、読み物として活用した。	全ページ